

私はノエル

私はノエルという名前のイヌ。みんながそう呼ぶので、ノエルは私の名前であまりいい。

ダンナさんとオクさんと私とがこの家に住んでいる。この家はあまり広くないけど、ほぼ毎日散歩に行くので運動不足にはならない。散歩の途中でほかのイヌと出会うと、ダンナさんかオクさんが毎回必ず声をかけるので、イヌ友達も何頭かいる。だから家の外でたいくつすることはない。

散歩に行けない日は雨や風が強い日だ。なぜだか空から降ってくるものに、ダンナさんもオクさんも弱い。とはいえ、パッと強い光の後にゴロゴロというたいへん大きな音が空から聞こえるととても怖い日は、私も散歩に行きたくない。ヒトの言葉では、あれをカミナリと呼んでいる。カミナリは私も大嫌いだから、散歩に行けない日もあるけどガマンできる。

私はヒトの言葉がいくつか分かる。でもみんなはもっといろいろなことをしゃべるので、そういう時は黙って聞くことにしている。イヌどうしの言葉は分かるけれど、ヒトの言葉は覚えきれない。いつも、ヒトどうしの話はたいへんだと思う。

散歩とゴハンが私の大好きなもの。ゴハンを決まってダンナさんとオクさんが先に食べることになっている。どうやらヒトのゴハンとイヌのゴハンはずいぶん違うようなので、テーブルの上に並んでいるヒトのゴハンをおねだりしても、かならずダメと言われるからあきらめる。

とはいえ、私のゴハンには美味しいものを食べさせてくれる。ヒトは何でイヌのゴハンを食べないのかはよく分からない。これにはきっと深いわけがあるのだろう。

ダンナさんやオクさんと一緒にいると安心するし、家の外が明るい間は時々だけ遊んでもらえるのでとてもうれしい。そうでない時はハウスのなかで寝るのが大好きだ。家の外が暗くなっても、明るく輝くライトが天井にあるので、みんなの顔がよく見える。私はヒトと同じように長くは起きてはいられないので、部屋が明るくてもたいていは私が先に寝る。ヒトがなぜ長い時間起きていられるのかよくわからないけれど、どうやらヒトとイヌには違いがあるようだ。

ヒトはテレビという光る箱をよく観る。私はイヌだからテレビのことは分からないけど、ヒトの声や歌などいろんな音がするので、それは面白いと思う。ダンナさんとオクさんは、テレビを観ながらいろんな話をする。きっととても大切なことを話しているのだろう。

私がいつからこの家にいるかは覚えてない。気がついたらみんなと一緒にいた。それから、ヒトの言葉をどう覚えたかもはっきりしない。でも、大切な言葉はきちんと覚えているし、毎日同じことの繰り返しだから、困ったりしない。ダンナさんやオクさんの言葉どおりに動けば、ちゃんとほめてもらえるし、遊んだりしてもらえるので、それがとても楽しい。

私はずっとこの家でみんなと一緒に生きていきたい。なぜなら毎日がとても楽しいから。ダンナさんとオクさん、それに私が今日と同じような明日を過ごせたらいいと思う。

なんだかとても眠くなってきたから寝ることにする。おやすみなさいの言葉はちゃんと覚えているから、ノエルはハウスへ行くね。